



二見中学校だより

教育目標 心身ともにたくましく

自ら学び 共に支えあう 生徒の育成

第7号

令和7年

9月11日発行

文責 校長 中西

全国学力・学習状況調査の結果

4月17日(木)に3年生を対象に実施されました令和7年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。調査の結果を受け、本校の課題を把握するとともに、授業改善に取り組みます。

* 令和7年度に実施された調査は、教科に関する調査(国語、数学、理科)及び生徒質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)です。

○教科に関する調査より

国語・数学・理科とも全国・三重県の平均正答率から、残念ながら下回っていました。

国語では、「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうか」「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうか」等の問題に成果が見られた一方、「文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうか」「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうか」等の問題に課題が見られました。

数学では、「多角形の外郭の意味を理解しているかどうか」等の問題で成果が見られた一方、「事象に即してグラフから必要な情報を読み取ることができるかどうか」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうか」等の問題に課題が見られました。

理科では、「火災における適切な避難行動をとることで、気体の性質に関する知識が概念として身につけているかどうか」「加熱を伴う実験における実験機器の操作等に関する技能が身につけているかどうか」等の問題に成果が見られた一方、「【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を利用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうか」「気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探求の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうか」等の問題に課題が見られました。

二見中学校3年生としては、基礎的な知識は概ね習得しているようですが、それを応用して活用し探求を進めていくことに弱みがあるように思われます。今後もこれらの調査結果をもとに、本校の学習課題を把握するとともに、「わかる授業」に取り組み、学力の定着・向上に取り組んでいきます。

○生徒質問紙調査より

* 全国の状況と比較するとよかったもの(主なもの)

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか(「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合)	二見中	95.0	差
	三重県	84.9	10.1
	全国	83.6	11.4
あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなど使ってまとめる)ことができると思いますか(「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合)	二見中	73.4	差
	三重県	66.9	6.5
	全国	63.3	10.1

* 全国の状況と比較すると課題が大きいもの(主なもの)

自分には、よいところがあると思いますか(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)	二見中	75	差
	三重県	86.8	-11.8
	全国	86.2	-11.2

将来の夢や目標を持っていますか(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)	二見中	61.6	差
	三重県	68.8	-7.2
	全国	67.5	-5.9
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)	二見中	65	差
	三重県	80.4	-15.4
	全国	79.2	-14.2

普段の学習等でのタブレット活用が、ICT機器等を使つての文書作成や情報整理等が定着させていると思われます。これからはICT機器の活用が必要不可欠です。学習でも仕事でも、使いこなせることが求められるでしょう。そのような中、この結果は頼もしく感じます。

その一方で、「自分に良いところがある」、「将来の夢や目標を持っている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答する生徒の割合が全国や県と比較すると非常に低い傾向があります。これは「自己肯定感」の低さの表れではないでしょうか。「達成感を味わう」「他者に認められる」「人の役に立つ」といった経験を積む中で、自信が生まれ他人と比べることなく自分を受け入れ尊重できるようになると考えられます。そこで、授業を中心に学校生活全般において、子どもたちの自己肯定感を高められるよう、様々な体験を通して達成感を味わわせるとともに、友達等からも認められる活動に取り組んでいきたいと考えております。また、キャリア教育等を通して、生徒たちが自分の将来に夢や目標が持てるよう、支援していきたいと考えています。

学力調査や質問用紙から見てきた現状を分析し、「強み」を伸ばし「弱み」が克服できるよう、教職員一同で取り組んでいきます。

【夏休み中の活躍】

○陸上競技部

「第71回全日本中学校通信陸上競技三重大会」

男子800m 第5位 阿竹 嵐 / 男子2年100m B決勝第7位 森田 成耶

「第41回三重県中学校選抜陸上競技大会」

男子800m 第4位 阿竹 嵐 / 男子3000m 第3位 木村 愛琉

「第74回伊勢度会選手権大会」

男子3000m 第2位 木村 愛琉

女子走高跳 第3位 角田 彩夏 / 女子走幅跳 第7位 富岡 楽愛

「第56回U16陸上競技三重大会」

AB共通男子3000m 第1位 阿竹 嵐 / C女子走幅跳 第4位 富岡 楽愛

○卓球部

「伊勢地区団体卓球選手権大会」

中学男子の部 第3位 二見中学校Aチーム



【救急救命法を学びました】

9月2日(火)放課後、伊勢消防署から講師を招き、保健衛生委員や、担当教員が救急救命法を学びました。心配蘇生法、またそれに至るまでにしなければならないこと等、体験を通じて学ぶことができました。そのような場がないことが一番ですが、万が一遭遇した場合、適切な対応が求められます。学んだことを忘れずにいてほしいものです。12月には、2年生全員が「救急救命法」を学びます。

※先日プリントを配付しましたが、若本教諭が約1カ月半の育児休業に入っています。担当していたクラス・授業・部活動などの代替はお知らせしたとおりです。ご確認の程、よろしくお願いいたします。